

# 平成 1 9 年災害の概要

平成 2 0 年 9 月

佐 賀 県



# 目 次

平成19年災害別被害総括表 .....	1
災害別気象状況及び被害状況等	
1 4月16日の降雹 .....	2
2 7月2日から4日の豪雨 .....	4
3 7月6日から7日の豪雨 .....	9
4 7月14日の台風4号 .....	14
5 8月2日から3日にかけての台風5号 .....	19
6 9月15日から17日にかけての豪雨 .....	25
7 10月4日の竜巻 .....	27
平成19年月別気象概況 .....	29
参考資料	
1 過去10年間の被害状況 .....	43

# 平成19年災害別被害総括表

名 区 分	災害 4月16日の 降雹	7月2日か ら4日の豪 雨	7月6日か ら7日の豪 雨	7月14日の 台風4号	8月2日か ら3日にか けての台 風5号	9月15日か ら17日にか けての豪 雨	10月4日の 竜巻	計
人的被害（人）				2	4		6	12
死者								
負傷者				2	4		6	12
住家被害（棟）		36	162					198
住家全壊								
住家半壊								
住家一部損壊			1					1
住家床上浸水			12					12
住家床下浸水		36	149					185
非住家被害								
土木被害（千円）		135,800	137,000		15,500			288,300
農業被害（千円）	7,540	94,005	247,352	25,261	103,080	7,000	22	484,260
林業被害（千円）		10,510	109,491	7,000	8,220	28,000		163,221
水産被害（千円）				1,000				1,000
文教被害（千円）								
商工被害（千円）								
厚生被害（千円）								
その他（千円）			500		360			860
計	7,540	240,315	494,343	33,261	127,160	35,000	22	937,641

# 災害別気象状況及び被害状況等

## 1 4月16日の降雹

### (1) 気象

#### ア 概況

強い寒気を伴う低気圧が九州北部上空を通過し大気の状態が不安定となったため、ひょうが降った。このため農業被害が発生した。

#### イ 日降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
4月16日	2	4	20	6	7	4	6	6	5	11

#### ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
南部 唐津地区 伊万里地区		雷, 強風 雷, 強風, 波浪 雷, 強風	4/16 5:08 (切替)
唐津地区		強風, 波浪	4/16 20:30 (切替)
唐津地区		波浪	4/17 5:10 4/17 10:45 (解除)

### (2) 被害

被害総額 7,540千円

#### ア 農業被害 7,540千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
農業用施設	利用施設	3箇所	148	ビニルハウスの破損
農作物	野菜	23.9ha	7,392	たまねぎ
合計			7,540	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

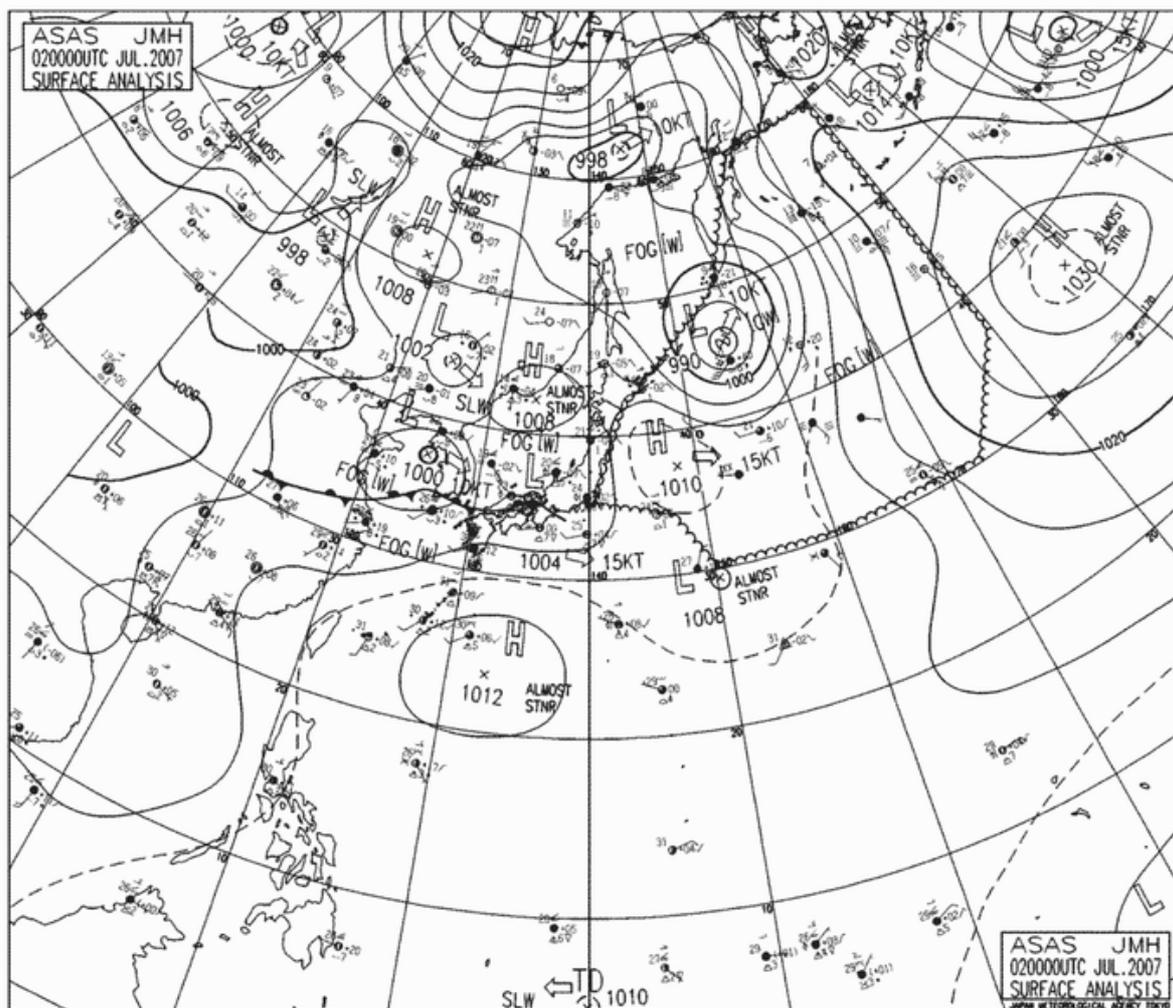
## 2 7月2日から4日の豪雨

### (1) 気象

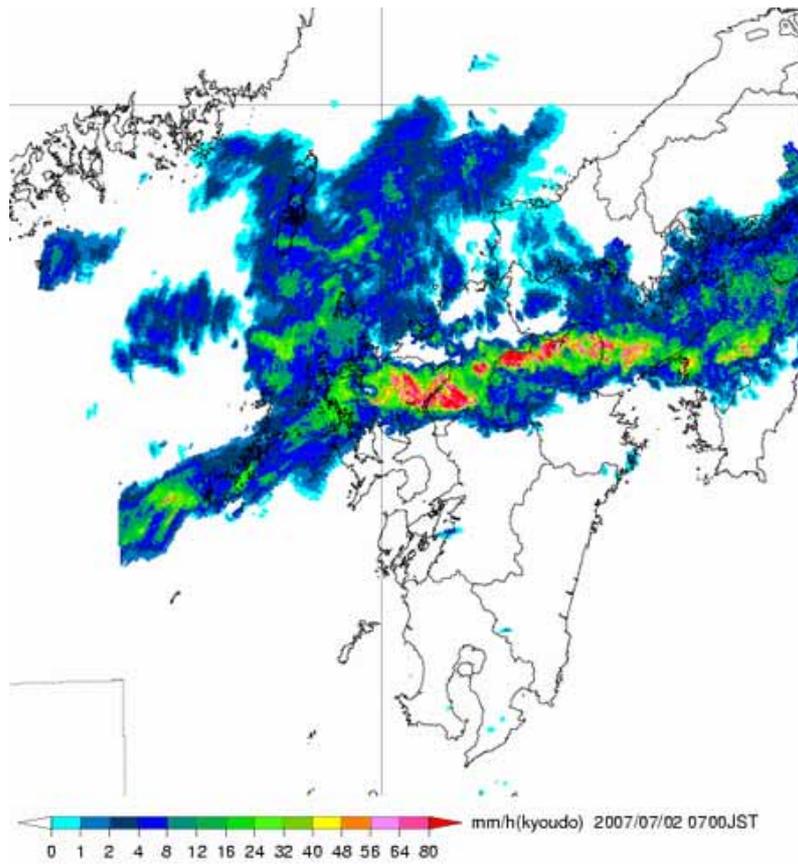
#### ア 概況

梅雨前線が九州北部に停滞したため、各地で109～290mmの雨を観測した。特に白石では2日に日最大1時間降水量の極値を更新した。

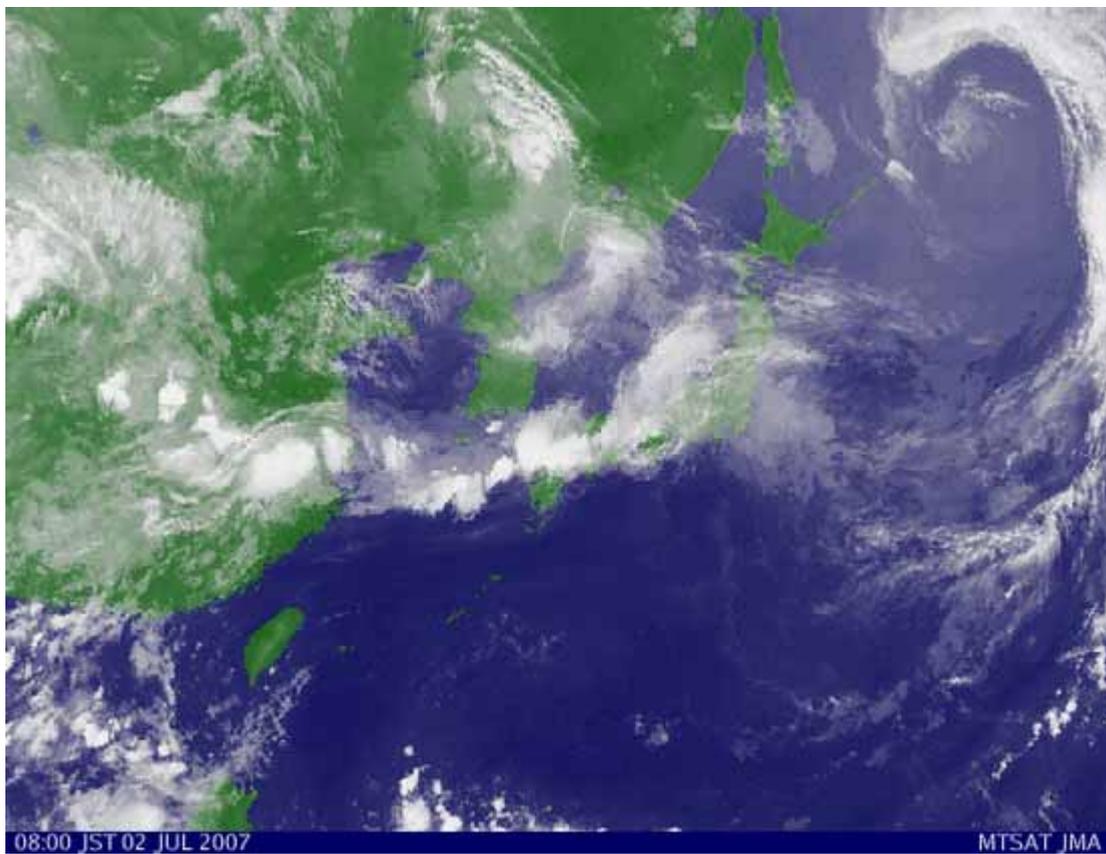
このため、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。



地上天気図（平成19年7月2日09時00分）



レーダー画像（平成 19 年 7 月 2 日 08 時 00 分）



気象衛星画像（赤外） 平成 19 年 7 月 2 日 08 時 00 分）

イ 日降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
7月2日	58	82	105	67	127	152	99	172	103	51
7月3日	0	0	1	2	2	0	2	1	1	1
7月4日	51	52	62	107	118	117	104	117	101	79

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷，強風 雷	7/1 16:52 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨，雷，洪水 大雨，雷，強風，洪水 大雨，雷，洪水	7/2 5:02 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水	雷 雷，強風 雷	7/2 6:20 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水	雷 雷 雷 大雨，雷，洪水 雷，強風 雷	7/2 11:10 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨，雷，洪水 大雨，雷，強風，洪水 大雨，雷，洪水	7/2 12:40 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨，雷，洪水 大雨，雷，強風，洪水 大雨，雷，洪水	7/2 17:17 (切替)
佐賀県		大雨	7/3 4:00 (切替)
佐賀多久地区 武雄地区		大雨 大雨	7/3 6:30 (切替) 7/3 7:20 (解除)

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		大雨，雷，洪水	7/3 16:20（切替）
佐賀県		大雨，雷，強風，洪水	7/4 5:08（切替）
南部 唐津地区 伊万里地区		強風 強風，波浪 強風	7/4 11:00（切替）  7/4 16:40（解除）

(2) 被害

被害総額 240,315千円

ア 住家被害

区分	被害数量	備考
床下浸水	36棟	佐賀市(7) 武雄市(3) 小城市(9) 川副町(2) 白石町(15)
計	36棟	

イ 土木被害 135,800千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	16箇所	59,100	護岸崩壊、法面崩壊
道路	5箇所	76,700	路肩崩壊、法面崩壊
計		135,800	

ウ 農業被害 94,005千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
農地	田	2.71ha	43,000	畦畔法崩れ
	畑	0.55ha		
農業用 施設	水路	19箇所	46,000	水路損壊
	道路	12箇所		農道損壊
	ため池	3箇所		法面崩壊
農作物	野菜	1.4ha	1,675	こねぎ、アスパラガス
	花き	0.3ha	3,330	キク
計			94,005	

エ 林業被害 10,510千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林道	7箇所	10,510	路肩崩壊、法面崩壊
計		10,510	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 7月2日 6時20分 ~ 7月2日 15時00分

(イ) 市町

災害情報連絡室 22市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 36人

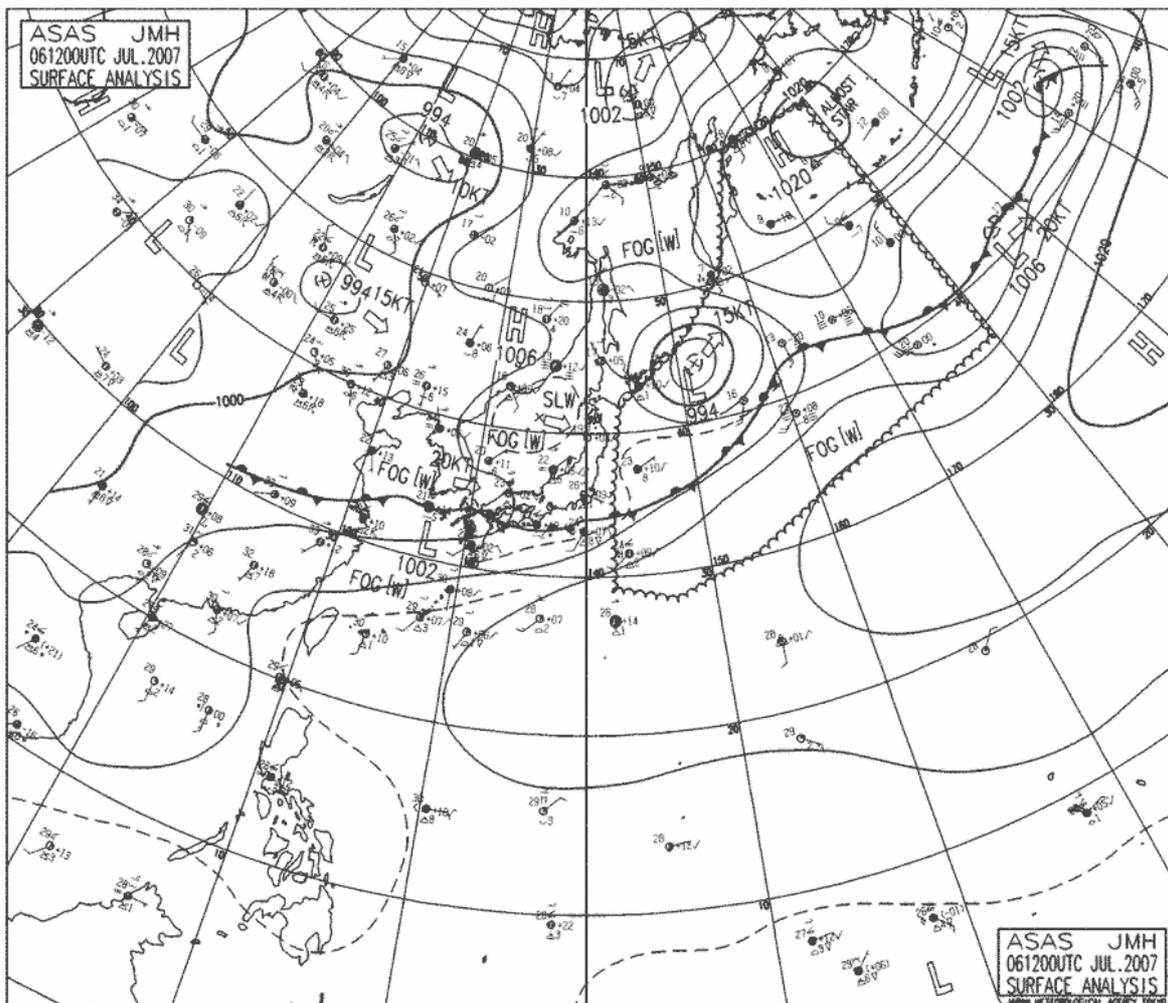
(イ) 消防団員 30人

### 3 7月6日から7日にかけての豪雨

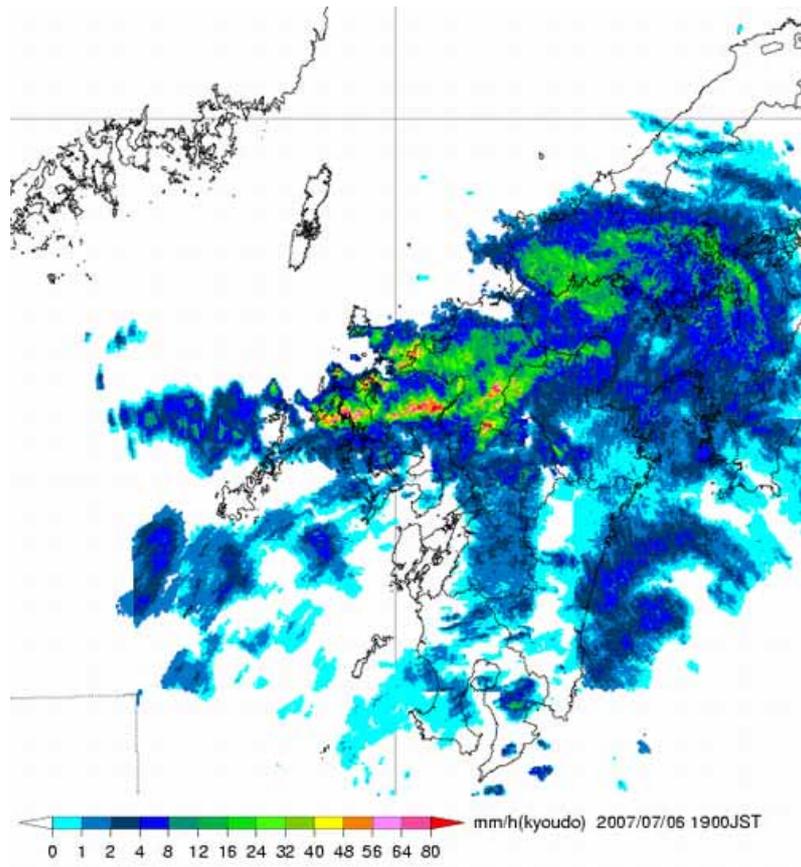
#### (1) 気象

##### ア 概況

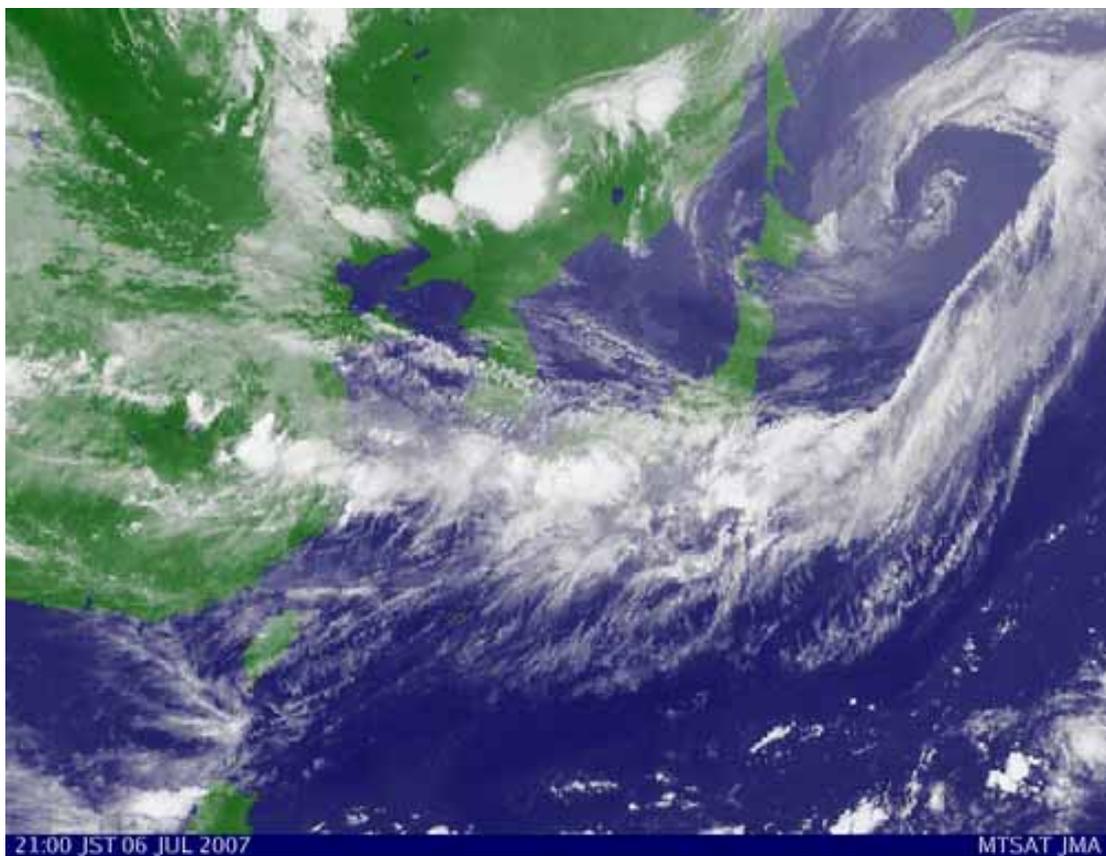
梅雨前線が九州北部に停滞したため、県内各地で145～283mmの雨が降った。このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。



地上天気図（平成19年7月6日21時00分）



レーダー画像 (平成 19 年 7 月 6 日 19 時 00 分)



レーダー画像 (平成 19 年 7 月 6 日 21 時 00 分)

イ 日降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
7月6日	111	158	123	129	136	161	183	198	172	187
7月7日	34	33	30	41	42	39	71	68	64	96

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		雷	7/5 23:35 (切替)
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	7/6 3:00 (切替)
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	7/6 15:04 (切替)
佐賀県	大雨, 洪水	雷	7/6 19:25 (切替)
佐賀県	大雨, 洪水	雷	7/6 23:55 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水  大雨, 洪水	雷 大雨, 雷, 洪水 雷	7/7 7:50 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨  大雨	雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 雷, 洪水	7/7 9:55 (切替)
南部 伊万里地区		大雨 大雨	7/7 13:45 (切替) 7/7 16:45 (解除)

(2) 被害

被害総額 494,343千円

ア 住家被害

区 分	被害数量	備 考
一部損壊	1棟	嬉野市(1)
床上浸水	12棟	武雄市(11) 白石町(1)
床下浸水	149棟	佐賀市(1) 武雄市(67) 大町町(2) 白石町(79)
計	162棟	

イ 土木被害 137,000千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
河川	19箇所	85,000	護岸崩壊、法面崩壊
道路	18箇所	52,000	路肩崩壊、法面崩壊
計		137,000	

ウ 農業被害 247,352千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	4.02ha	96,400	畦畔法崩れ
	畑	5.24ha		
農業用 施設	水路	19箇所	130,000	水路損壊
	道路	30箇所		農道損壊
	橋梁	1箇所		橋梁損壊
	ため池	8箇所		法面崩壊
	その他	2箇所		頭首工の破損等
農作物	大豆	292ha	3,971	
	野菜	8.4ha	16,006	アスパラガス等
	花き	0.3ha	666	キク
	果樹	4.6ha	309	ブドウ
計			247,352	

エ 林業被害 109,491千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	9箇所	73,591	山腹崩壊
林業施設	1箇所	2,300	保安林管理道
林道	11箇所	33,600	法面崩壊、路肩崩壊
計		109,491	

オ その他の被害 500千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
公園	1箇所	500	園路法面崩壊
計		500	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 7月6日 19時25分 ~ 7月7日 18時00分

(イ) 市町

災害対策本部 1町

災害警戒本部 2市町

災害情報連絡室 19市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 21人

(イ) 消防団員 348人

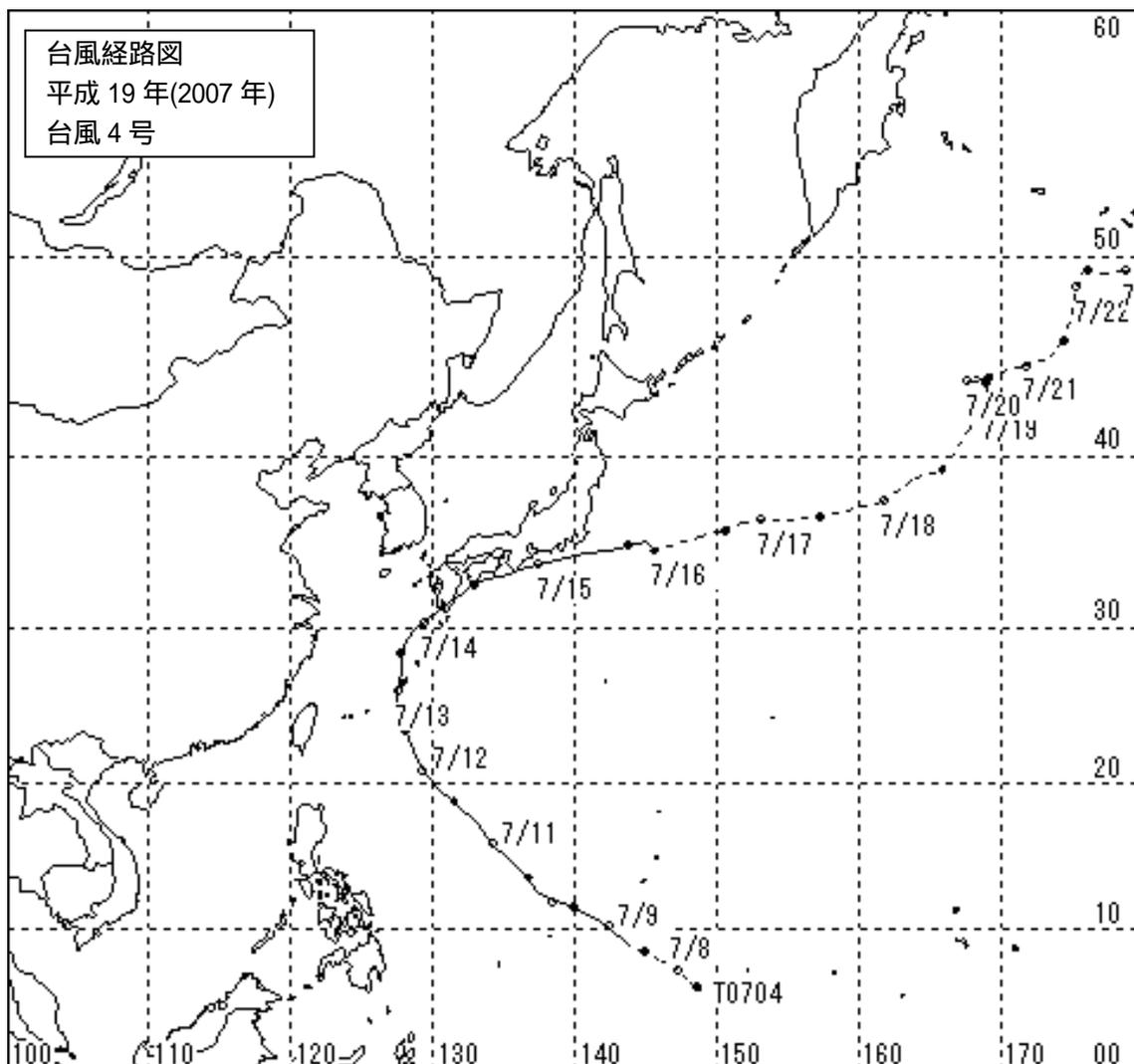
## 4 7月14日の台風4号

### (1) 気象

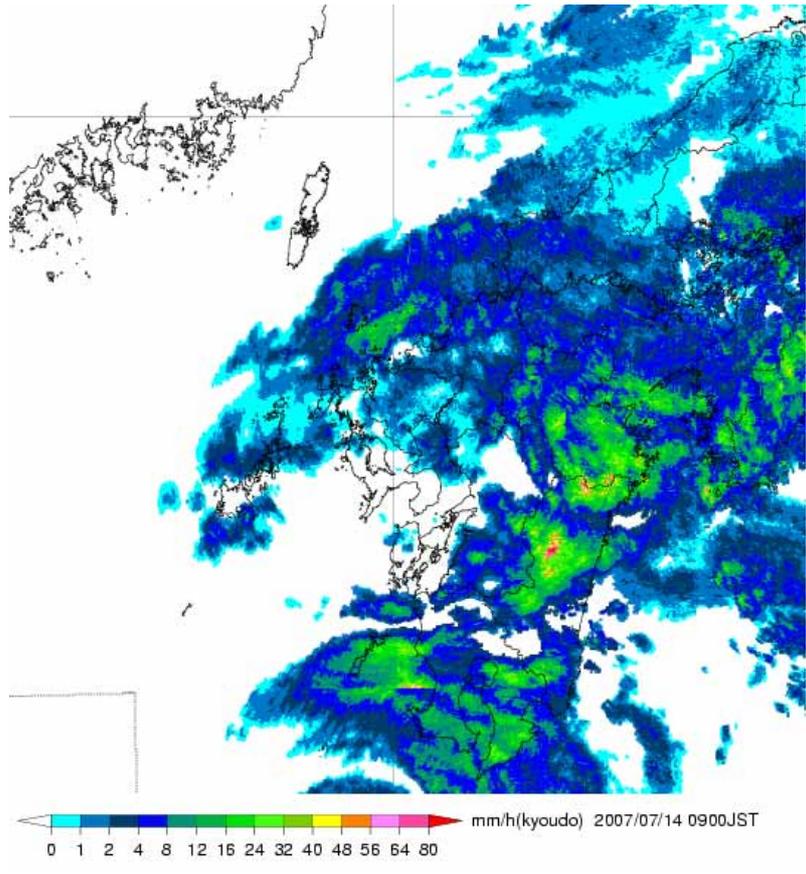
#### ア 概況

台風第4号は、13日には沖縄地方を北上し、非常に強い勢力を保ったまま14日14時頃、鹿児島県大隅半島に上陸、その後北東に進み日向灘へ抜けた。この台風により、佐賀で14日16時31分に北東の風24.7m/sの最大瞬間風速を観測した。

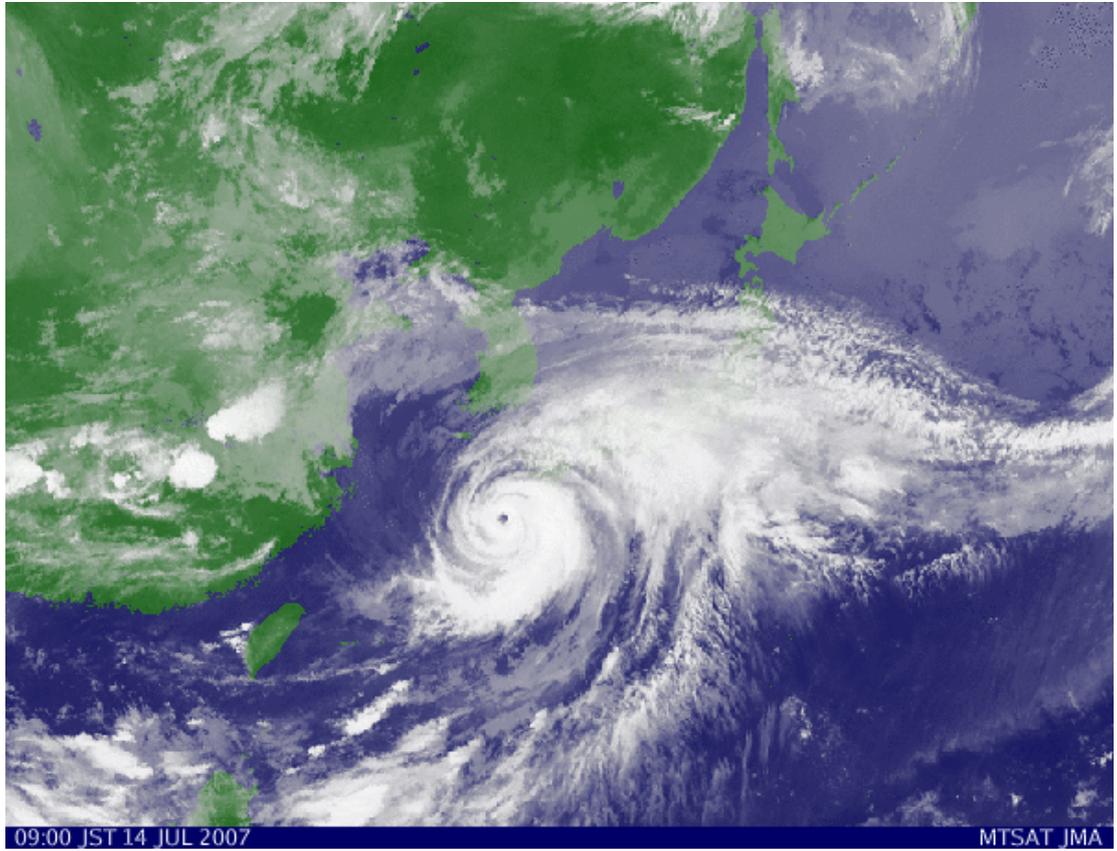
このため、県内各地で、人的被害、農業被害、林業被害及び水産被害が発生した。



経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。



レーダー画像 (平成 19 年 7 月 14 日 09 時 00 分)



レーダー画像 (平成 19 年 7 月 14 日 09 時 00 分)

イ 日最大風速 ( m / s )

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
7月14日	8	8	17	10	10	19

ウ 降水量 ( mm )

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
7月14日	16	7	24	10	14	7	13	3	9	10

エ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 北部		雷，強風，波浪 雷，強風 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪	7/13 16:43 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	雷 雷 雷 雷 雷，高潮 雷，波浪，高潮	7/14 1:00 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	高潮 波浪，高潮	7/14 17:25 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪	強風，波浪 強風 強風，波浪 強風，波浪 強風，波浪	7/14 20:30 ( 切替 )

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪	強風，波浪	7/15 0:10 (切替)
		強風	
		強風，波浪	
唐津地区		強風，波浪	7/15 4:20 (切替)

(2) 被害

被害総額 33,261千円

ア 人的被害

区分	被害数量	備考
軽傷	2名	唐津市(1) 川副町(1)
計	2名	

イ 農業被害 25,261千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
農業用施設	利用施設	96箇所	7,955	ハウス破損等
農産物	野菜	50.4ha	12,770	レンコン、イチゴ苗等
	果樹	45.6ha	4,536	ナシ、ブドウ、モモ
計			25,261	

ウ 林業被害 7,000千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
林道	1箇所	7,000	法面崩壊
計		7,000	

エ 水産被害 1,000千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
施設	加工施設	3箇所	1,000	煙突破損等
計			1,000	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 7月14日 01時00分 ~ 7月15日 13時00分

(イ) 市町

災害警戒本部 1町

災害情報連絡室 22市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 0人

(イ) 消防団員 23人

## 5 8月2日から3日にかけての台風5号

### (1) 気象

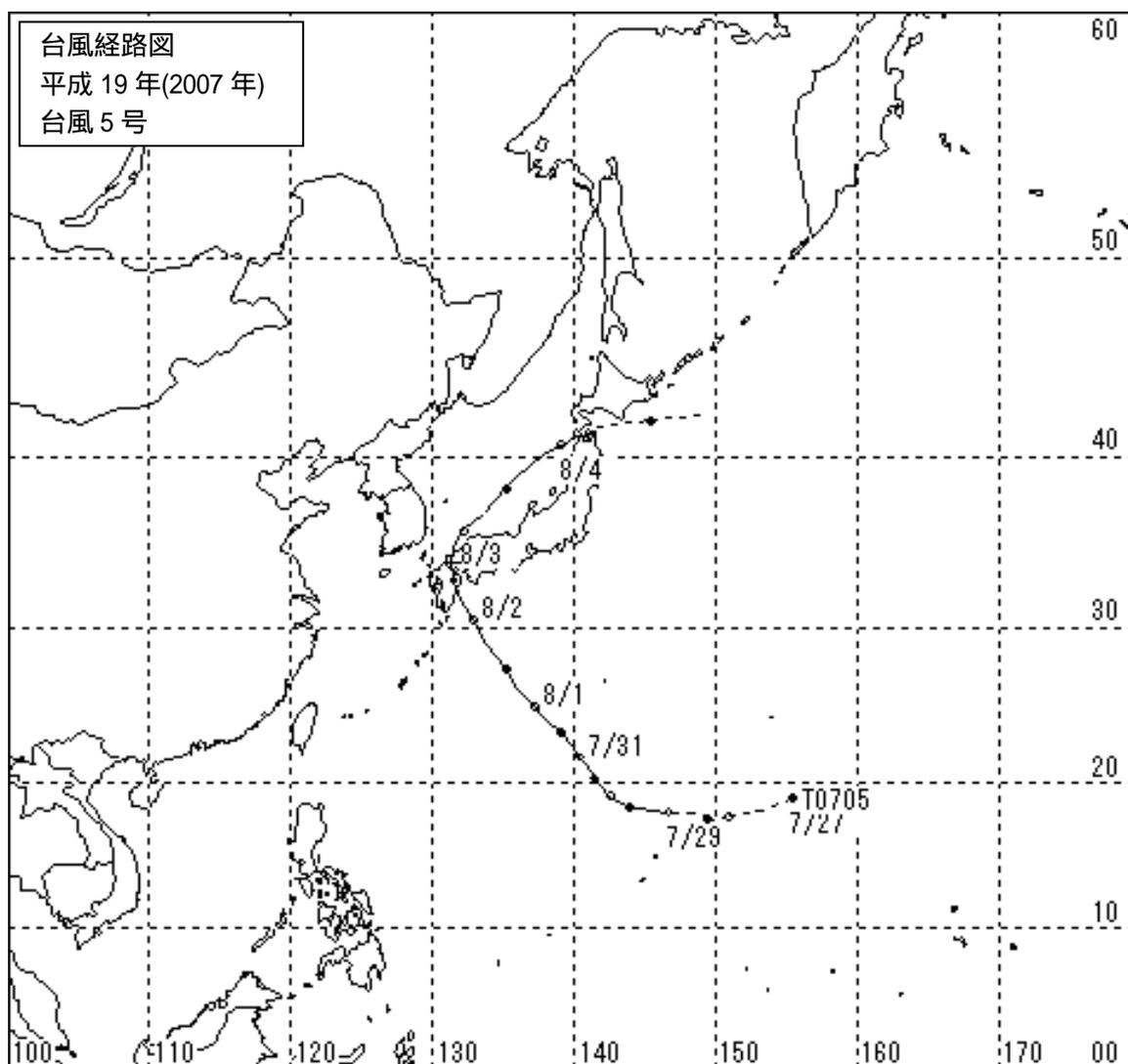
#### ア 概況

台風第5号は、2日18時前に宮崎県日向市付近に上陸し、3日01時過ぎに山口県宇部市付近に再上陸後、日本海へ抜けた。この台風により、佐賀で2日18時57分に北の風27.2m/sの最大瞬間風速を観測した。

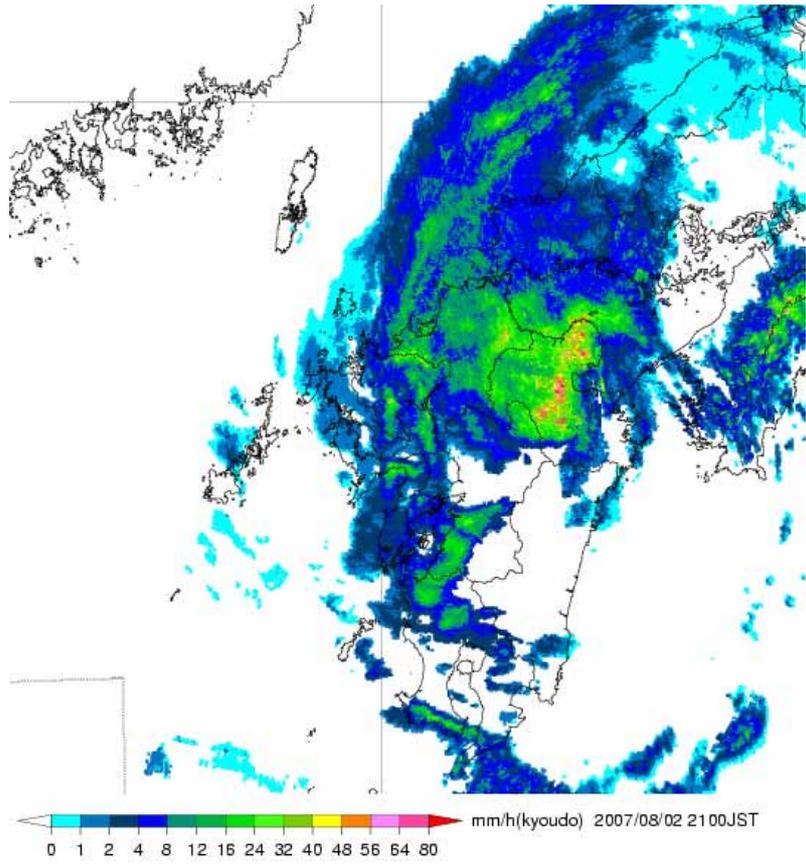
佐賀市の佐賀県総合運動場では強風にテントが飛ばされ、開催中の高校総体関係者が負傷した。

また、3日18時過ぎに佐賀市巨勢町付近で竜巻が発生し、農業用ハウスの損壊や倒木などの被害が発生した。

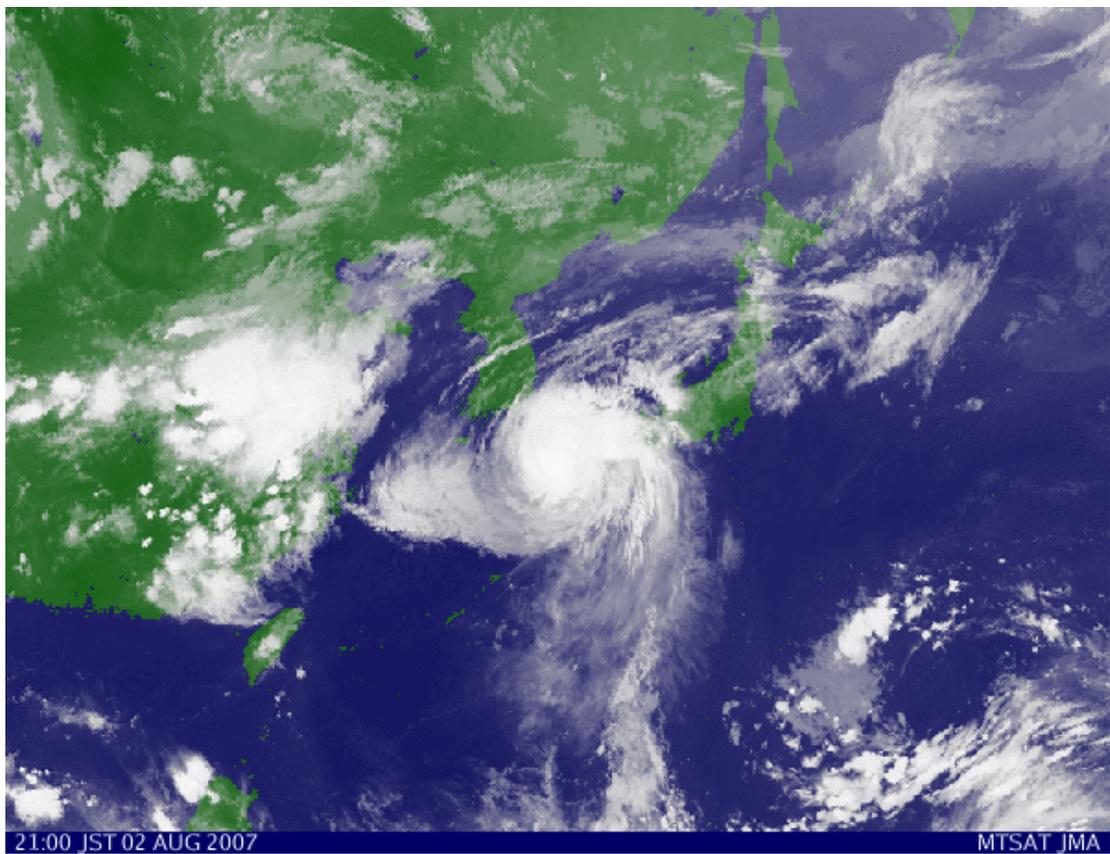
この他、県内各地で、人的被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。



経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。



レーダー画像 (平成 19 年 8 月 2 日 21 時 00 分)



レーダー画像 (平成 19 年 8 月 2 日 21 時 00 分)

イ 日最大風速 ( m / s )

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
8月2日	4	8	16	9	9	15
8月3日	5	9	11	4	6	11

ウ 日降水量 ( mm )

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
8月2日	33	47	80	14	37	15	34	20	49	62
8月3日	19	33	72	28	37	139	80	76	89	80

エ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・ 解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		雷, 強風, 波浪 雷, 強風 雷, 強風, 波浪 雷, 強風, 波浪 雷, 強風, 波浪 雷, 強風	8/2 5:59 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 北部	暴風 暴風 暴風 暴風 暴風	雷, 波浪 雷 雷, 波浪 雷, 波浪 雷, 波浪	8/2 12:30 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風, 波浪 暴風 暴風, 波浪 暴風, 波浪 暴風, 波浪 暴風	雷 雷 雷 雷 雷 雷, 波浪	8/2 14:20 ( 切替 )
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風, 波浪 暴風 暴風, 波浪 暴風, 波浪 暴風, 波浪 暴風	大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 雷 雷 大雨, 雷, 洪水 雷, 波浪	8/2 22:10 ( 切替 )

地域	種類		発表・切替・ 解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水，暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 大雨，洪水，暴風，波浪 暴風	雷 大雨，雷，洪水 雷 雷 雷 雷，波浪	8/3 1:55 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水    大雨，洪水	雷，強風，波浪 大雨，雷，強風，洪水 大雨，雷，強風，波浪，洪水 大雨，雷，強風，波浪，洪水 雷，強風，波浪 大雨，雷，強風，波浪，洪水	8/3 4:05 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 北部	大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水	雷，強風，波浪 雷，強風 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪	8/3 5:50 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨，雷，強風，波浪 大雨，雷，強風 大雨，雷，強風，波浪 大雨，雷，強風，波浪 大雨，雷，強風，波浪 大雨，雷，強風	8/3 8:45 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷，波浪 雷	8/3 11:00 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨，雷，洪水 雷，波浪 雷	8/3 14:42 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水 大雨，洪水	雷 雷 雷 雷 雷，強風，波浪 雷	8/3 17:30 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷，強風，波浪 雷	8/3 20:40 (切替)

地域	種類		発表・切替・ 解除日時
	警報	注意報	
南部 北部		大雨, 雷, 洪水 雷	8/4 3:40 (切替)
佐賀県		雷	8/4 7:05 (切替)

(2) 被害

被害総額 127,160千円

ア 人的被害

区分	被害数量	備考
軽傷	4名	佐賀市(2) 小城市(2)
計	4名	

イ 土木被害 15,500千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	4箇所	15,500	護岸崩壊
計		15,500	

ウ 農業被害 103,080千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
農地	田	6.69ha	48,000	畦畔法崩れ
	畑	1.33ha		
農業用 施設	水路	24箇所	44,000	水路損壊
	道路	12箇所		農道損壊
	ため池	6箇所		ため池損壊
	その他	1箇所		頭首工破損
	利用施設	30箇所	2,553	ハウス破損
農作物	水稲	138ha	4,885	
	野菜	5.8ha	2,552	アスパラガス等
	果樹	9.7ha	1,090	ナシ、リンゴ等
計			103,080	

エ 林業被害 8,220千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	3箇所	2,600	山腹崩壊
林道	5箇所	5,620	路肩崩壊
計		8,220	

オ その他の被害 360千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
県有施設	2箇所	360	県営住宅破損等
計		360	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 8月2日 12時30分 ~ 8月3日 20時40分

(イ) 市町

災害情報連絡室 23市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 0人

(イ) 消防団員 24人

## 6 9月15日から17日にかけての豪雨

### (1) 気象

#### ア 概況

15日～17日にかけて台風第11号が九州西海上を北上し南から暖かく湿った空気が流れ込み、県内各地で34～80mmの雨を観測した。

このため、佐賀市において農業被害及び林業被害が発生した。

#### イ 日最大風速 (m/s)

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
9月15日	3	5	8	4	5	6
9月16日	3	5	9	6	4	10
9月17日	4	6	8	6	4	10

#### ウ 日降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
9月15日	22	15	3	15	20	2	7	12	1	8
9月16日	26	13	22	9	8	43	8	15	74	68
9月17日	19	49	19	47	51	15	44	7	1	5

#### エ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		雷	9/15 15:17 (切替)
佐賀県		雷	9/15 21:20 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	9/16 11:05 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 雷, 強風, 波浪 雷	9/16 16:34 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	9/16 21:26 (切替)
南部 唐津地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水	9/17 3:01 (切替)

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
伊万里地区		大雨，雷，洪水	
佐賀県		雷	9/17 11:28 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷，強風，波浪 雷	9/17 16:28 (切替)
唐津地区		強風，波浪	9/17 22:17 (切替)
唐津地区		強風，波浪	9/18 10:59 (切替)

(2) 被害

被害総額 35,000千円

ア 農業被害 7,000千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
農地	1箇所	7,000	法面崩壊
計		7,000	

イ 林業被害 28,000千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
林道	1箇所	28,000	法面崩壊
計		28,000	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

## 7 10月4日の竜巻

### (1) 気象

#### ア 概況

10月4日15時過ぎに佐賀市本庄町付近で突風が発生し、飛散した器物により破損した窓ガラスの破片で、本庄小学校児童6人が負傷(軽傷)するなどの人的・物的被害が発生した。

また、ビニルハウス等に農業被害が発生した。

#### イ 日最大風速 (m/s)

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
10月4日	3	6	6	5	3	5

#### ウ 降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### エ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		乾燥	10/2 10:12 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		乾燥 強風, 波浪, 乾燥 乾燥	10/4 16:45 (切替)  10/6 20:20 (解除)

### (2) 被害

被害総額 22千円

#### ア 人的被害

区 分	被害数量	備 考
軽傷	6名	佐賀市(6)
計	6名	

イ 農業被害 22千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農業用施設	利用施設	2箇所	22	ビニルハウス破損
計			22	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

# 平成19年月別気象概況

(資料提供:佐賀地方気象台)

## 1月

### 【上旬】

- ・ 期間中、前線や気圧の谷と冬型の気圧配置の影響を受け、曇や雨の日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並で、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 1日から2日にかけて気圧の谷の影響を受け、県内各地で4～14mmの雨を観測した。6日は寒冷前線の影響を受け、県内各地で1～11mmの雨を観測した。7日は冬型の気圧配置の影響を受け、1mmの雨を観測したところがあった。

### 【中旬】

- ・ 期間中前線や気圧の谷、冬型の気圧配置、高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。
- ・ 16日から17日にかけて九州南海上の前線の影響を受け、県内各地で8～10mmの雨を観測した。

### 【下旬】

- ・ 期間中低気圧や気圧の谷と冬型の気圧配置の影響を受け、曇や雨の日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。
- ・ 26日は低気圧が朝鮮半島を通過した影響を受け、県内各地で1～6mmの雨を観測した。27日は冬型の気圧配置の影響を受け、1～3mmの雨を観測したところがあった。28日から29日にかけて冬型の気圧配置の影響を受け、1～3mmの雨を観測したところがあった。

## 2月

### 【上旬】

- ・ 期間のはじめと終わりは強い冬型の気圧配置と低気圧や気圧の谷の影響を受け曇りや雨、雪の日が多かったが、中頃は高気圧に覆われ晴れの日が多かった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 1日から2日にかけて強い冬型の気圧配置の影響を受け、1～7mmの雨や雪を観測したところがあり、1日に佐賀と伊万里で積雪（0cm）を観測した。8日は前線を伴った低気圧が九州北部を通過し、県内各地で3～16mmの雨を観測した。9日は気圧の谷の影響を受け、県内各地で1～3mmの雨を観測した。

### 【中旬】

- ・ 期間中前線や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。
- ・ 13日から14日にかけて日本海に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線が通過し、県内各地で13～59mmの雨を観測した。16日は気圧の谷の影響を受け、1～2mmの雨を観測したところがあった。17日は前線を伴った低気圧が九州南部を通過し、県内各地で18～28mmの雨を観測した。18日は気圧の谷の影響を受け、1～2mmの雨を観測したところがあった。

### 【下旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の初めと終わりに気圧の谷や低気圧の影響を受け雨の日もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 22日は低気圧が九州の南岸を通過し、県内各地で5～8mmの雨を観測した。
- ・ 23日に今年初めての黄砂を観測した。

## 3月

### 【上旬】

- ・ 期間中前線や気圧の谷、冬型の気圧配置と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。
- ・ 4日から5日にかけて日本海に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線が通過し、県内各地で19～31mmの雨を観測した。7日から8日にかけて冬型の気圧配置の影響を受け、2mmの雨や雪を観測したところがあった。10日は気圧の谷の影響を受け、県内各地で3～7mmの雨を観測した。

### 【中旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の中頃に気圧の谷や低気圧の影響を受け、曇りや雨の日もあった。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 15日は前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で21～44mmの雨を観測した。19日は気圧の谷の影響を受け、1mmの雨を観測したところがあった。

### 【下旬】

- ・ 期間中低気圧や前線、気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多かった。
- ・ 24日は前線を伴った低気圧が朝鮮半島を通過し、県内各地で47～99mmの雨を観測した。27日は前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、1～2mmの雨を観測したところがあった。30日は前線が通過し、1～10mmの雨を観測したところがあった。31日は前線を伴った低気圧が朝鮮半島を通過し、1～8mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 24日は、伊万里、嬉野、川副で日降水量の極値を更新した。

## 4月

### 【上旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の初めと中頃に前線や気圧の谷の影響を受け、曇りや雨の日もあった。また、寒気が流れ込み、気温の低い日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 1日は九州南岸の前線の影響を受け、1～4mmの雨を観測したところがあった。3日は気圧の谷の影響を受け、1～5mmの雨を観測したところがあった。6日から7日にかけて気圧の谷の影響を受け、1～2mmの雨を観測したところがあった。

### 【中旬】

- ・ 期間中低気圧や前線、気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。
- ・ 13日は日本海に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線が通過し、2～42mmの雨を観測したところがあった。15日は気圧の谷の影響を受け、1～3mmの雨を観測した。16日は上空に寒気を伴った低気圧が九州北部を通過し、県内各地で雷とひょうを伴い2～20mmの雨を観測した。17日は気圧の谷の影響を受け、1mmの雨を観測したところがあった。18日は前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で3～21mmの雨を観測した。
- ・ 16日は県内各地でひょうが降り、白石町ではタマネギなどの農作物に、唐津市厳木町ではビニールハウスに被害が発生した。

### 【下旬】

- ・ 期間中前線や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温及び降水量は共に平年並で、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 21日は気圧の谷の影響を受け、2mmの雨を観測したところがあった。22日から23日は日本海に中心を持つ低気圧からのびる前線が通過し、県内各地で27～89mmの雨を観測した。24日は気圧の谷や前線の影響を受け、県内各地で1～15mmの雨を観測した。30日は前線を伴った低気圧が九州北部に接近し、県内各地で7～14mmの雨を観測した。

## 5月

### 【上旬】

- ・ 期間中低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多かった。
- ・ 1日から2日にかけて朝鮮半島に中心を持つ低気圧からのびる前線が通過し、県内各地で7～41mmの雨を観測した。4日は南から湿った空気が流れ込み、3～20mmの雨を観測したところがあった。5日から6日にかけて前線を伴った低気圧が九州南部を通過し、県内各地で14～44mmの雨を観測した。7日は気圧の谷の影響を受け、1～4mmの雨を観測したところがあった。9日から10日にかけて寒冷前線が九州北部を通過し、県内各地で9～32mmの雨を観測した。

### 【中旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響を受け雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年並で、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 12日は寒冷前線が九州北部を通過し、県内各地で2～8mmの雨を観測した。16日から17日にかけては前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で2～13mmの雨を観測した。18日は上空に寒気を伴った低気圧が朝鮮半島を通過し、1～13mmの雨を観測したところがあった。

### 【下旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響で雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 24日から25日にかけて日本海西部に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線が通過し、県内各地で14～52mmの雨を観測した。

## 6月

### 【上旬】

- ・ 期間の前半は低気圧や気圧の谷の影響を受け曇りの日が多く、雨の降る日もあったが、後半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった。
- ・ 平均気温は平年並で、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 1日は気圧の谷の影響を受け、1～4mmの雨を観測したところがあった。2日から3日にかけて前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、1～2mmの雨を観測したところがあった。5日は気圧の谷の通過と南から湿った空気が流れ込み、1～10mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 3月以降、降水量の少ない状態が続いているため、6日に「少雨に関する佐賀県気象情報第1号」を発表した。

### 【中旬】

- ・ 期間中梅雨前線や低気圧の影響を受け、雨の降る日が多かった。
- ・ 平均気温は平年並、降水量と日照時間は共に平年より少なかった。
- ・ 13日は前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で5～13mmの雨を観測した。14日は九州南海上に停滞する梅雨前線の影響を受け、県内各地で2～10mmの雨を観測した。15日は九州南部に停滞する梅雨前線の影響を受け、県内各地で13～30mmの雨を観測した。16日は九州南海上に停滞する梅雨前線の影響を受け、1～6mmの雨を観測したところがあった。17日から18日にかけて上空に寒気を伴った低気圧が東シナ海に停滞し、県内各地で3～46mmの雨を観測した。特に佐賀では雷を伴った激しい雨を観測した。19日から20日にかけて上空の寒気や南から湿った空気が流れ込み、県内各地で1～20mmの雨を観測した。
- ・ 九州北部地方(山口県を含む)は、13日頃梅雨入りしたとみられる。しかし、梅雨入り後、雨の降る日が続いたものの、梅雨前線は九州南部に停滞することが多く、春からの少雨状態を解消するまでには至らなかったため、19日に「少雨に関する佐賀県気象情報第2号」を発表した。

## 【下旬】

- ・ 期間中梅雨前線の影響を受け、雨の降る日が多かった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。
- ・ 21日は南から湿った空気が流れ込み、1～8mmの雨を観測したところがあった。22日から24日にかけて梅雨前線の影響を受け、県内各地で11～61mmの雨を観測した。28日から29日にかけて梅雨前線の影響を受け、県内各地で4～31mmの雨を観測した。
- ・ 梅雨入り後、雨の降る日が続いたものの、春からの少雨状態を解消するまでには至らず、25日に「少雨に関する佐賀県気象情報第3号」を発表した。

## 7月

### 【上旬】

- ・ 期間中梅雨前線が九州付近に停滞し、雨の降る日が多かった。
- ・ 平均気温は平年並、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年よりかなり少なかった。
- ・ 期間を通じて梅雨前線は九州北部に停滞することが多く、県内各地で 305～600mm の雨を観測し、特に 2 日、4 日、6 日は 100mm を超す大雨となった。2 日は白石で日最大 1 時間降水量の極値を更新した。
- ・ 6 月 13 日以降、日照時間がかなり少ない状態が続いているため、10 日に「日照不足に関する佐賀県気象情報第 1 号」を発表した。

### 【中旬】

- ・ 期間中梅雨前線や台風の影響を受け、雨の降る日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年並で、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 11 日から 13 日は梅雨前線が九州北部に停滞し、県内各地で 18～66mm の雨を観測した。14 日から 15 日は台風第 4 号の影響を受け、県内各地で 3～40mm の雨を観測した。16 日は九州北部にある梅雨前線が南下し、3～9mm の雨を観測したところがあった。20 日は対馬海峡にある梅雨前線の影響で、1～19mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 台風第 4 号は、13 日には沖縄地方を北上し、非常に強い勢力を保ったまま 14 日 14 時頃、鹿児島県大隅半島に上陸、その後北東に進み日向灘へ抜けた。この台風により、佐賀で 14 日 16 時 31 分に北東の風 24.7m/s の最大瞬間風速を観測した。
- ・ 7 月に入り日照時間がかなり少ない状態が続いているため、20 日に「日照不足に関する佐賀県気象情報第 2 号」を発表した。

### 【下旬】

- ・ 期間の初めに梅雨前線の影響を受け雨の降る日があったが、その後は、高気圧に覆われ晴れの日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 21 日から 22 日にかけて梅雨前線の活動は弱く、1mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 九州北部地方(山口県を含む)は、23 日頃梅雨明けしたとみられる。

## 8月

### 【上旬】

- ・ 台風の影響や太平洋高気圧の周辺部にあたり南から湿った空気が流れ込み、雨の降る日が多かったが、旬の終わりは高気圧に覆われ晴れた。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年並であった。
- ・ 2日から3日は台風第5号とその後の周辺部の不安定降水により、県内各地で42～154mmの雨を観測した。特に佐賀、嬉野、多良岳では雷を伴った非常に激しい雨を観測した。4日から6日は太平洋高気圧の周辺部にあたり南から湿った空気が流れ込み、3～53mmの雨を観測した。9日は高気圧に覆われたが、強い日射の影響を受け一時的に大気の状態が不安定となり、7mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 台風第5号は、2日18時前に宮崎県日向市付近に上陸し、3日01時過ぎに山口県宇部市付近に再上陸後、日本海へ抜けた。この台風により、佐賀で2日18時57分に北の風27.2m/sの最大瞬間風速を観測した。
- ・ 3日18時過ぎに佐賀市巨勢町付近で竜巻が発生し、農業用ハウスの損壊や倒木などの被害が発生した。

### 【中旬】

- ・ 期間中太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、気圧の谷や上空の寒気の影響で雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 13日は気圧の谷の影響や南から湿った空気の流れ込みで、県内各地で1～16mmの雨を観測した。14日は太平洋高気圧の周辺部にあたり南から湿った空気が流れ込み、2～5mmの雨を観測したところがあった。19日は強い日射の影響で大気の状態が安定となり、5mmの雨を観測したところがあった。20日は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、2～23mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 16日に白石で最高気温37.1、17日に佐賀で最高気温37.6を観測した。

## 【下旬】

- ・ 期間の中頃まで太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受け、局地的に雨の降る日もあった。また、旬の終りは低気圧や前線の影響を受け、雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 21日から22日にかけて太平洋高気圧の周辺部にあたり、南から湿った空気が流れ込み、1～8mmの雨を観測したところがあった。23日は気圧の谷の影響や南から湿った空気が流れ込み、県内各地で3～27mmの雨を観測した。25日から26日にかけて強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、1～6mmの雨を観測したところがあった。28日は強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、1mmの雨を観測したところがあった。30日から31日にかけて前線を伴った低気圧が九州北部を通過し、県内各地で5～51mmの雨を観測した。
- ・ 8月中旬から気温の高い状態が続いているため、21日に「高温に関する佐賀県気象情報第1号」を発表した。

## 9月

### 【上旬】

- ・ 7日まで前線を伴った低気圧の影響や南から湿った空気の流れ込みで、曇りや雨の日が多かった。その後は高気圧に覆われ晴れた。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。
- ・ 1日から2日は低気圧や前線の影響を受け、県内各地で15～94mmの雨を観測した。3日から5日は南から湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受け、1～24mmの雨を観測したところがあった。6日から7日は東シナ海にある低気圧の影響を受け県内各地で2～36mmの雨を観測した。

### 【中旬】

- ・ 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、中頃は台風第11号の影響を受け雨の降る日があった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 14日は前線が朝鮮半島南岸まで北上し夕方1mmの雨を観測したところがあった。15日～17日にかけて台風第11号が九州西海上を北上し南から暖かく湿った空気が流れ込み、県内各地で34～81mmの雨を観測した。
- ・ 太平洋高気圧に覆われ気温が上昇し、佐賀では18日に、白石では15、18、19日に猛暑日を観測した。

### 【下旬】

- ・ 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、気圧の谷の影響を受け雨の降る日もあった
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 23日から25日にかけて、気圧の谷の影響を受け3～12mmの雨を観測したところがあった。28日から30日にかけて、気圧の谷の影響を受け1～3mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 8月中旬から気温の高い状態が続いているため、21日に「高温に関する佐賀県気象情報第1号」を、27日に「同第2号」を発表した。

## 10月

### 【上旬】

- ・ 旬の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響で曇りの日や雨の降る日が多かった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年並であった。
- ・ 8日から9日にかけて前線の南下と台風第15号から変わった低気圧が接近したため、県内各地で32～108mmの雨を観測し、日降水量が50mmを超える大雨となった。
- ・ 4日は佐賀市本庄町付近で竜巻とみられる突風が発生し、軽傷6名の負傷者やビニールハウスのビニール破損などの被害が発生した。
- ・ 8月中旬以降、気温が高く降水量が少ない状態が続いているため、4日に「高温と少雨に関する佐賀県気象情報第3号」を発表した。

### 【中旬】

- ・ 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、気圧の谷の影響で曇りや雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 15日及び17日～18日は北部で気圧の谷の影響を受け、8mm及び6mmの雨を観測したところがあった。

### 【下旬】

- ・ 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、前線や気圧の谷、湿った空気の影響を受け雨の降る日もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多かった。
- ・ 26日は、湿った気流が流れ込み大気の状態が不安定となり、雷を伴い2～32mmの雨を観測したところがあった。

## 11月

### 【上旬】

- ・ 高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、旬の中頃は気圧の谷や前線の影響で雨の降る日があった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量及び日照時間は平年並であった。
- ・ 5日から6日にかけて気圧の谷や九州南海上の前線の影響で、県内各地で4～24mmの雨を観測した。
- ・ 3日の朝は放射冷却現象で冷え込み、嬉野で最低気温3.5を観測した。

### 【中旬】

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れる日が多かった。
- ・ 平均気温は平年並、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・ 12日は上空の寒気の寒気の影響で1mmの雨を観測した所があった。20日は寒冷前線の影響で、北部を中心に1～11mm雨を観測したところがあった。
- ・ 佐賀で、19日に平年より3日早く初霜を、平年より12日早く初氷を観測した。

### 【下旬】

- ・ 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、一時、気圧の谷の影響を受け弱い雨の降る日があった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。
- ・ 10月中旬から高気圧に覆われ晴れる日が多く降水量の少ない状況が続いているため、30日に「少雨に関する佐賀県気象情報第1号」を発表した。

## 12月

### 【上旬】

- ・ 期間中、低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年並、日照時間は平年より多かった。
- ・ 2日から3日にかけて、前線を伴った低気圧の通過で、各地で14～27mmの雨を観測した。
- ・ 6日から7日は、気圧の谷の影響で、1～7mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 10日は、低気圧が接近し、各地で3～6mmの雨を観測した。

### 【中旬】

- ・ 旬の前半は低気圧や気圧の谷の影響を受け曇る日や雨の降る日が多かったが、後半は高気圧に覆われ晴れる日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年より少なかった。
- ・ 11日から13日にかけて低気圧と気圧の谷の影響で、県内各地で6～14mmの雨を観測した。

### 【下旬】

- ・ 低気圧や気圧の谷の影響を受けて曇る日や雨の降る日が多かった。とくに旬の終わりは強い冬型の気圧配置となり雪の降る日があった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年よりかなり少なかった。
- ・ 21日から23日にかけて低気圧や気圧の谷の影響で、各地で39～63mmの雨を観測した。26日から28日にかけて低気圧や気圧の谷の影響で、各地で6～12mmの雨を観測した。30日から31日にかけて強い冬型の気圧配置となり、各地で2～7mmの雨や雪を観測した。
- ・ 30日に佐賀で初雪（平年より13日遅い）と天山の初冠雪（平年より26日遅い）を観測した。

## 過去10年間の被害状況

区分	年次				
	10	11	12	13	14
人的被害(人)	1	2	2		2
死者	1		1		1
負傷者		2	1		1
住家被害(棟)	86	332	1	139	281
住家全壊					1
住家半壊					1
住家一部損壊		8		4	2
住家床上浸水	1	9		2	12
住家床下浸水	85	315	1	133	265
非住家被害(棟)		1			
土木被害	475,300	2,075,800	160,600	1,472,400	1,544,623
農業被害	1,404,045	10,265,134	559,640	3,779,266	3,936,736
林業被害	248,498	708,300	36,900	653,611	588,521
水産被害	23,000	48,100			
文教被害			2,000		
商工被害					
厚生被害	800				
その他(県有財産等)					
計	2,151,643	13,097,334	759,140	5,905,277	6,069,880

(金額単位：千円)

15	16	17	18	19	備考
6	81	15	34	12	
			3		
6	81	15	31	12	
43	1,835	140	3,493	198	
	17		7		
	31	1	8		
18	1,784	139	2,981	1	
1			111	12	
24	3		386	185	
12	105	1	374		
836,900	509,600	227,975	6,212,140	288,300	
3,781,313	9,446,920	1,665,299	22,141,075	484,260	
659,834	871,320	16,970	3,137,736	163,221	
9,068	105,630	17,867	442,776	1,000	
884	36,985	94,367	227,000		
	183,155	114,395	235,993		
2,948	18,650		79,378		
	187,412	101,786	91,064	860	
5,290,947	11,359,672	2,238,659	32,567,162	937,641	